

音声情報提供システムの概要

■ Aimulet GH(アイミュレット・ジーエイチ)の概要

「グローバル・ハウス」では、独立行政法人産業技術総合研究所の提供により開発された、カード型端末装置(Aimulet GH)を使った展示品の音声解説を日英の二言語で行います。Aimuletは、お守り、魔除けという意味のamuletにintelligent、interactive、あるいは「愛(あい)・地球博」のiを挿入したもので、GHは「グローバル・ハウス」を意味します。赤外線で送られて来る音声信号をそのまま太陽電池で電気信号に変換し、スピーカーを鳴らすため、バッテリーなどの電源が要らず、小さく軽量(カード、厚さ5mm、重さ28g)という特徴を持っています。音声情報の送信装置は、赤外線LEDを配列した発光部とドライバで構成されます。赤外線の波長に応じたフィルタをAimulet GHの太陽電池の前に取りつけることで、複数の音声情報からひとつを選択して受信できます。利用者は送信装置の発光部にAimulet GHの太陽電池の面を向けながらコーナー部にある音の出口を耳にあてて解説を聞きます。館内に配置した送信装置ごとに異なるコンテンツを聞くことができます。また、Aimulet GHにはアクティブ型の無線ICタグが内蔵されており、言語や年齢に対応したサービスの切り換えや来館者の流動解析も可能です。

■ 「グローバル・ハウス」での利用

「グローバル・ハウス」ではオレンジ ホールに入った最初のコーナーで各来館者に日本語用または英語用のAimulet GHを配布し、まず簡単な使い方のガイダンスを行います。Aimulet GHは、プロローグゾーン、グローバルストリート及びグローバルショーケースで使用します。天上から吊り下げられた送信装置にAimulet GHを向け、耳に当てると音声聞こえます。音声情報には、各展示品に関する30秒程度の解説と、来館者のイメージネーションを刺激する荒俣宏氏の語りかけの2種類があります。Aimulet GHは展示ゾーンの出口で回収し、清掃して再び使用します。無線ICタグを使った来館者の流動解析により、混雑の予測、来館者の誘導による混雑緩和、展示物の配置換えなども行う予定です。来館者の個人情報の登録は必要ないため、プライバシー侵害の恐れはありません。